

2023年1月20日

①評価に関わる資料（ルーブリック、評価シートなど）（課題1）

宮崎県立小林秀峰高等学校  
工業（機械科） 渡部 洋平

（9月27日実施分）

ルーブリック：授業の始めに提示、まとめの自己評価の前に再提示

A:知識及び技術		B:思考力・判断力・表現力等		C:主体的に学習に取り組む態度	
応	作図に関する寸法の読み取り・計算ができる。略画法について理解している。これらのことについて、人に説明することができる。	応		応	
標	作図に関する寸法の読み取り・計算ができる。略画法について理解している。	標		標	
基	支援を受けることにより、作図に関する寸法の読み取り・計算ができる。略画法について理解している。	基	計算や作図作業について、他者と交流をしながら進めることができる。	基	文章や語句、補足事項等を授業プリントに適切にまとめている。作図作業や動画視聴などについて主体的に活動しようとしている。

評価シート：自己評価についてはQRコードを使用してMicrosoft Formsでも回答してもらった

20220927授業公開

<本時の目標>

1. スプロケットの各寸法の読み取り、計算について理解する。
2. スプロケットの略画法について理解する。

取り組みの評価	2	1	0
授業準備	教科書、ファイル、製図道具等の準備、ドラフターの点検を時間内に完了した	時間がかかってしまい、時間内に完了できなかった	忘れ物をしてしまった
授業態度	集中し、説明をしっかりと聞いた	作業に気を取られるなど、説明を聞き逃すことがあった	私語や居眠りをしてしまった
Communication	今回学んだことを教える（伝える）ことができた	相手の意見に耳を傾け、話を聞いた	自分のことだけで、周りの交流ができなかった

内容理解	2	1	0
(A 寸法) について	理解できた。人に説明できる！(8割以上できた)	自分的には理解できた(5割以上はできた)	理解できなかった(5割未満)
(B 略画法) について	理解できた。人に説明できる！(8割以上できた)	自分的には理解できた(5割以上はできた)	理解できなかった(5割未満)



復習しよう


事後アンケート

記入後はアンケート入力を！

合計点数 ( 7 - 110 ) 点

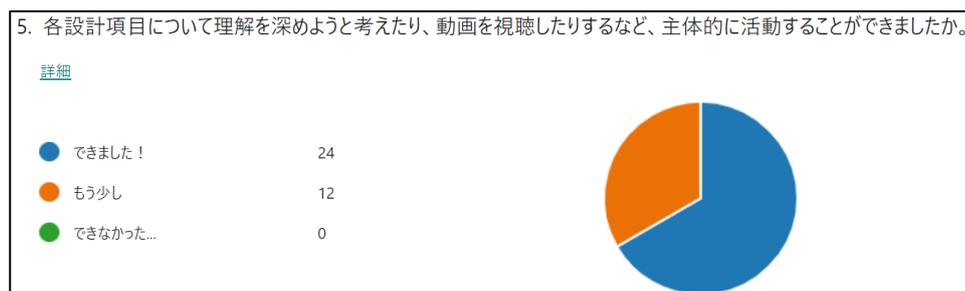
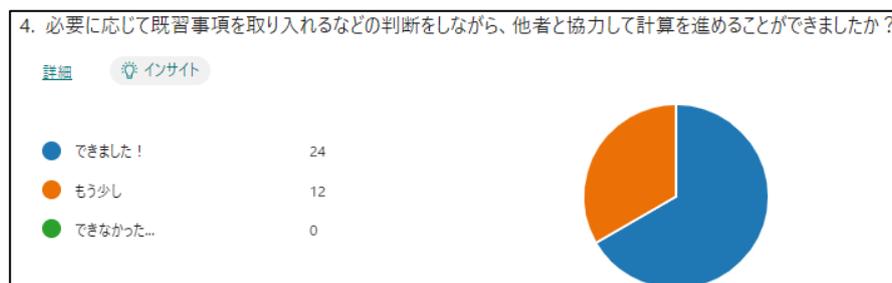
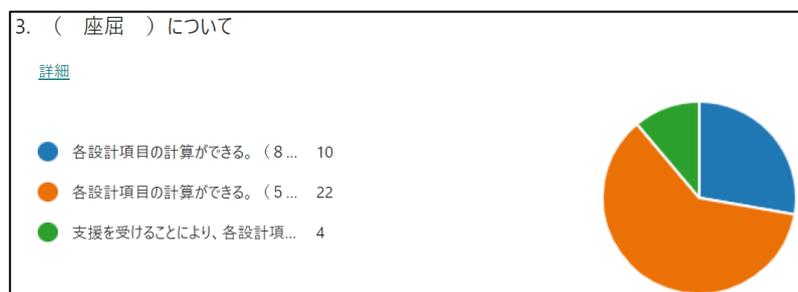
本日のMVPは？	氏名： <span style="background-color: gray; color: gray;">                    </span>	理由： <span style="background-color: gray; color: gray;">分かりたい所を教えてくれた</span>	※全体的に活躍した人 ※教えてくれたり助けてくれた人
ひとこと（感想、質問等）	自分の難しい作業が多かったので、しっかりと取り組むことができて良かった		

(11月9日実施分)

ルーブリック：授業の始めに提示、まとめの自己評価の前に再提示

A:知識及び技術		B:思考力・判断力・表現力等		C:主体的に学習に取り組む態度	
応	各設計項目の計算ができる。 (8割以上) また、これらのことについて、人に説明することができる。	応		応	
標	各設計項目の計算ができる。 (5割以上)	標		標	
基	支援を受けることにより、各設計項目の計算ができる。	基	必要に応じて既習事項を取り入れるなどの判断をしながら、他者と協力して計算を進める。	基	各設計項目について理解を深めようと考えたり、動画を視聴したりするなど、主体的に活動している。

評価シート：自己評価についてはQRコードを使用してMicrosoft Formsでも回答してもらった



機械製図の学習の目的は？

生産現場において、図面を理解し、適切な作業が行えるようになること

設計の手順やその裏にある理論を理解し、設計を実践できるようになること（発展として CAD に移れる）

製図作業における技能面の向上（効率よくきれいな図面を描き上げる）

知識・技能（技術）

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

知識・技能や思考・判断・表現に関する目標を達成するために必要な要素であり、この評価を授業のメインとして授業設計をすることは現実的ではない

また、受講者 40 名を想定した際に、授業 1 時間ですべての生徒が主体的に学習に取り組んでいるかを評価することも難しいと考えられる。

① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしている側面

② ①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

今年度は、すべての工業高校の機械系学科で開講されている機械製図についての研究を行った。